

少子化に関する県民意識調査

調 査 票

平成30年10月
愛 知 県

愛知県では、少子化対策・子育て支援のための様々な施策を実施しており、施策を推進するため、平成27年3月に「あいち はぐみんプラン 2015-2019」という計画を策定し、取り組んでおります。

このたび、「あいち はぐみんプラン 2015-2019」の見直しを行うこととなりました。

この調査は、計画の見直しに必要な基礎資料として、県民の皆様方の少子化に関するお考えを知るため、無作為に選んだ県内 3,000 人の方々にお願いして実施するものです。

この調査でお答えいただくことからは、統計データとして処理いたしますので、回答者個人が特定されたり、他の目的に使用することは一切ありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【ご記入に際してのお願い】

- この調査票には、宛名の方ご本人がお答えください。
- この調査票は、平成30年10月1日現在の状況でお答えください。
- 記入は、黒の鉛筆、ボールペン、又は万年筆でお願いいたします。
- 回答は、選択肢に○印をつける場合と、数字などをご記入いただく場合があります。○印をつける数は各設問ごとに指定してありますので、それにしたがって回答してください。
「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 質問の番号の順番に従ってお答えください。なお、質問によっては回答いただく方が限られる場合がありますので、注意書きをお読みください。
- 設問の中にある「お子さんをお持ちの方」とは、血縁関係はなくても、実質的にお子さんを養育されている方を含みます。
- お名前の記入は不要です。

【回答方法】

- 調査票を、一緒にお配りした返信用封筒に入れ、平成30年11月7日（水）までに、郵便ポストに入れ、ご返送ください。（切手は不要です）

【お問い合わせ先】

○調査実施

愛知県健康福祉部子育て支援課 計画・推進グループ（大島、西澤）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2

電話：052-954-6315（ダイヤルイン）

F A X：052-971-5890

電子メール：kosodate@pref.aichi.lg.jp

○調査（調査票回収）委託機関

株式会社ゼンリン名古屋営業所（杉山・大村・永野）

〒456-0012 名古屋市熱田区沢上2-1-32

電話：052-684-2801

F A X：052-684-2808

少子化に関する県民意識調査

1 全員の方にお聞きします。

【問1】 あなたは、現在の低い出生率が続くことについて、社会の将来に危機感を感じていますか。それとも感じていませんか。この中からあてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 大変危機感を感じている | 4. あまり危機感を感じていない |
| 2. 多少危機感を感じている | 5. 全く危機感を感じていない |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

【問2】 出生率が低下し、子どもが少なくなっていますが、あなたが、少子化が与える影響で特に課題だと思うことは何ですか。この中からあてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 過疎化の一層の進行など、社会の活力に与える影響について
2. 労働力人口の減少など、経済活力に与える影響について
3. 年金や医療費の負担など、社会保障に与える影響について
4. 学校の減少など、身近な日常生活に与える影響について
5. 切磋琢磨し合う同年代の子どもの減少など、子どもの健全な成長に与える影響について
6. その他 ()
7. 少子化問題については関心がない
8. 特にない
9. わからない

【問3】 「安心して子どもを産み育てることができる社会」を実現するために重要なことは何だと思えますか。この中からあなたのお考えに近い番号を3つ以内で選び○印をつけてください。

1. 安定した雇用など、生活基盤を確保すること
2. ワークライフバランスの推進や休暇制度の充実など、子育てしやすい職場環境を整備すること
3. 安心して妊娠・出産、子育てできる医療体制を整備すること
4. 育児の不安感・孤立感を解消し、楽しく子育てできる環境をつくること
5. 保育サービスの量的・質的充実を図ること
6. 子育てにかかる経済的負担を軽減すること
7. 学校教育の充実を図ること
8. 子育て世帯に適した住宅の確保など、子育てしやすい居住環境を整備すること
9. 防犯や交通事故防止など、安全な子育て環境を確保すること
10. 行政、県民、ボランティア・NPO、企業等社会が一体となって子育てを応援すること
11. その他 ()
12. わからない

【問4】 子どもについてお尋ねします。

①	実際に持つかどうかはべつにして、あなたにとって理想の子どもの人数は何人ですか	<input type="text"/> 人	
②	現在、何人の子どもをお持ちですか	<input type="text"/> 人	子どものいない方は「0」とご記入ください。
	うち同居している人数は	<input type="text"/> 人	子どものいない方は「0」とご記入ください。
③	これから何人子どもを持ちたいですか	<input type="text"/> 人	子どもを持つつもりのない方は「0」とご記入ください。

【問5】 問4で、「理想の子ども数①より予定人数(現在の子ども的人数②と今後持つつもりの数③の合計)が少ない方」及び「子どもを持つつもりのない方(②及び③に「0」と記入された方)」にお聞きします。

子どもを持たない理由や理想の人数より少ない理由は何ですか。この中からあてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 保育サービスが整っていないから
3. 雇用が安定していないから
4. 働きながら子育てができる職場環境がないから
5. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
6. 家が狭いから
7. 子どもがのびのび育つ社会環境でないから
8. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
9. 自分や配偶者が高年齢で、産むのがいやだから
10. 自分や配偶者が育児の負担に耐えられないから
11. 妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから
12. 健康上の理由から
13. 欲しいけれども今のところまだ赤ちゃんを授からないから
14. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
15. 配偶者が望まないから
16. その他 ()
17. 特にない
18. わからない

【問6】 あなたは、これまでに結婚や出産を機に仕事を辞めたことがありますか。
また、辞めたことがある方は、その理由にあてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------------------------|
| 1. 仕事を辞めたことがある | 3. 働いたことがない |
| 2. 仕事を辞めたことはない | |
| ＜辞めた理由＞ | |
| 4. 結婚したため | 7. 職場から辞めてほしいという態度を示されたり、嫌がらせをされたため |
| 5. 出産のため | |
| 6. 育児のため | 8. その他 () |

【問7】 問6で1と答えた方にお聞きします。

あなたは、仕事を辞めて、現在、再び働きたいと思いませんか。この中からあてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 既に働いている | 4. 働きたくない |
| 2. すぐにでも働きたい | 5. わからない |
| 3. いずれ働きたい | |

【問8】 あなたは、女性が子育てをしながら働く上で問題となっていることは何だと思いませんか。この中からあてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|--|-----------|
| 1. 子育てに十分な時間をかけることができない | |
| 2. 子育てを重視しながら働くことに上司や同僚の理解・協力が得られない | |
| 3. 仕事と家事の両立が体力・時間的に難しい | |
| 4. 仕事と育児の両立が体力・時間的に難しい | |
| 5. 通勤時間が長い | |
| 6. 昇進や昇給に不利である | |
| 7. 休みがとりにくい、残業が多い | |
| 8. 転勤がある | |
| 9. 子どもの病気など急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない | |
| 10. 預かってくれる保育所や認定こども園がない | |
| 11. 預かってくれる放課後児童クラブ(学童保育)がない | |
| 12. 保育所・認定こども園や放課後児童クラブ以外の預かってくれる施設がない | |
| 13. 子どもの病気の時や急な残業に対応してくれる保育サービスがない | |
| 14. 保育サービスにお金がかかる | |
| 15. 配偶者の理解・協力が得られない | |
| 16. 家族(配偶者以外)の理解・協力が得られない | |
| 17. 職場において育児休業や短時間勤務などの制度が十分でない | |
| 18. その他 () | |
| 19. 特に問題はない | 20. わからない |

2 ここからは、お子さんをお持ちの方にお聞きします。

お子さんがいらっしゃる方のうち、独身の方は問2 1 (P13) へ、それ以外の方は問2 4 (P14) へお進みください。

【問9】 あなたとあなたの配偶者が子どもと過ごす時間(平日と休日)について、あてはまる番号に○印をつけてください。(配偶者のいらっしゃる方は、あなたご自身についてのみお答えください)

	子どもと過ごす時間			
	平日		休日	
あなた	1. 0～3時間	4. 9～12時間	1. 0～3時間	4. 9～12時間
	2. 3～6時間	5. 12～24時間	2. 3～6時間	5. 12～24時間
	3. 6～9時間		3. 6～9時間	
配偶者	1. 0～3時間	4. 9～12時間	1. 0～3時間	4. 9～12時間
	2. 3～6時間	5. 12～24時間	2. 3～6時間	5. 12～24時間
	3. 6～9時間		3. 6～9時間	

【問10】 あなたは、自分にとって子育てをして良かったと思うことは何ですか。この中からあてはまる番号に**いくつでも**○印をつけてください。

1. 家庭が明るくなる	8. 子どもを持つ喜びを実感できる
2. 家族の会話が増える	9. 子育てにより自分が成長できる
3. 夫婦の愛情がより深まる	10. 自分の親への感謝の気持ちが生まれる
4. 生活にはりあいができる	11. 子どもが成長する姿を見ることができる
5. 子育てを通じて友人が増える	12. その他 ()
6. 子育ての経験が仕事等に役立つ	13. 良いと思うことは特にない
7. 子どもから教えられることがある	14. わからない

【問11】 あなたは、自分にとって子育てをして負担に思うことは何ですか。この中からあてはまる番号に**いくつでも**○印をつけてください。

1. 子育てによる身体の疲れが大きい	8. 困ったときや不安なときに相談できる人がいない
2. 子育てによる精神的疲れが大きい	9. 子育てが十分にできない
3. 子育てに出費がかさむ	10. 子どもが病気するとき
4. 自分の自由な時間が持てない	11. その他 ()
5. 夫婦で楽しむ時間がない	12. 負担に思うことは特にない
6. 仕事が十分にできない	13. わからない
7. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	

【問12】 あなたとあなたの配偶者の子育てへの関わりは十分だと思いますか。それぞれについて、あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。(配偶者のいらっしゃらない方は、あなたご自身についてのみお答えください)

	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である
あなた	1	2	3	4
配偶者	1	2	3	4

【問13】 問12で、あなたまたは配偶者が、3または4と答えた方にお聞きします。関わりが十分でないのは、何が原因だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。(配偶者のいらっしゃらない方は、あなたご自身についてのみお答えください)

	あなた	配偶者
1. 仕事が忙しすぎるため	1	2
2. 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にするため	1	2
3. 子どものことや家庭のことにあまり関心がないため	1	2
4. 子どもの世話が面倒だと考えているため	1	2
5. 子育ての大変さを理解していないため	1	2
6. 子どもとどう接したらよいかわからないため	1	2
7. 子育てに関する知識や情報が乏しいため	1	2
8. 子育ては女性がするべきものと考えているため	1	2
9. その他 ()	1	2

【問14】 一人目の子どもが生まれてから、あなたまたは配偶者は働き方や日ごろの自分の時間の過ごし方が変わりましたか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。(配偶者のいらっしゃらない方は、あなたご自身についてのみお答えください。)

<働き方>

	あなた	配偶者
1. これまでと変わらない	1	2
2. 労働時間を増やした	1	2
3. 労働時間を減らした	1	2
4. 勤務時間(フレックスタイム含む)、勤務日を変えた	1	2
5. 勤務地を変えた	1	2
6. 正社員からパート・アルバイトに変えた	1	2
7. 転職した	1	2
8. 仕事を辞めた	1	2
9. 元々仕事はしていなかった	1	2

<日ごろの自分の時間の過ごし方>

	あなた	配偶者
1. これまでと変わらない	1	2
2. 友人との付き合い、趣味の活動時間を減らした	1	2
3. 子どもに関係した友人との付き合い、新しい趣味(ボランティア、PTA含む)の活動を始めた	1	2
4. 子どもを含めて家族で楽しめることを始めた	1	2
5. 子ども中心の生活とし、自分の時間はもたないようになった	1	2
6. 家事をする時間が増えた	1	2

【問15】（配偶者のいらっしゃる方は、問16にお進みください。配偶者のいらっしゃらない方は、以下の問15-1と問15-2の両方をお答えください。）

問15-1

小学校入学前の育児について、あなたのご家庭の中で、夫が行っている（行っていた）項目は何ですか。また、その頻度はどのくらいですか。項目ごとに最もあてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。
（男性はご自身の状況について、女性は夫の状況について回答してください。）

問15-2

夫が妻と同程度あるいは夫の方が主として行ってほしい（行ってほしかった）ことは何ですか。当てはまる項目にいくつでも○印をつけてください。
（男性はご自身が主として行いたい（行いたかった）ことについて、女性は夫に主として行ってほしい（行ってほしかった）ことについて回答してください。）

	【問15】-1					【問15】-2
	行っている（行っていた）こと					妻と同程度あるいは夫の方が主として行ってほしい（行ってほしかった）こと
	週5日以上	週3~4日程度	週1~2日程度	ほとんどしない		
1. 食事の世話をする	1	2	3	4	1	
2. おむつを取り替える	1	2	3	4	1	
3. 入浴させる	1	2	3	4	1	
4. 寝かしつける	1	2	3	4	1	
5. 家の中で、話や遊び相手をする	1	2	3	4	1	
6. 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く	1	2	3	4	1	
7. 日常生活上のしつけ	1	2	3	4	1	
8. 保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送り迎え	1	2	3	4	1	
9. ベビーシッター等の手配・交渉	1	2	3	4	1	
10. 妻の悩み事を聞く	1	2	3	4		
11. 妻の気持ちや考えを理解する	1	2	3	4		
12. その他	1	2	3	4	1	
13. 行ってほしいことはない					1	
14. わからない					1	

【問16】 あなた、またはあなたの配偶者が、子育てにあたって利用した制度は何ですか。また、利用したかった（利用してみたい）制度は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

さらに、利用したかった（利用してみたい）制度を選んだ場合、その理由は何ですか。あてはまるものを1つ選びそれぞれ○印をつけてください。

	① 利用した制度	② 利用したかった（利用してみたい） 制度	理由					
			住んで いる市町村 で実施して いれば利用 した（して みたい） から	制度を知 っていろ ば利用し たから	制度の利 用条件が 合えば 利用した （してみ たい） から	経済的に 可能なら ば 利用した （してみ たい） から	困ったと きに役に たちそう だから利 用してみ たい	その他
1. 幼稚園〈預かり保育を含む〉	1	2	a	b	c	d	e	f
2. 認定こども園	1	2	a	b	c	d	e	f
3. 認可保育所	1	2	a	b	c	d	e	f
4. 認可外保育施設	1	2	a	b	c	d	e	f
5. 居宅訪問型保育、家庭的保育	1	2	a	b	c	d	e	f
6. 事業所内保育	1	2	a	b	c	d	e	f
7. 休日保育	1	2	a	b	c	d	e	f
8. 一時・特定保育	1	2	a	b	c	d	e	f
9. 病児・病後児保育	1	2	a	b	c	d	e	f
10. 誰でも自由に利用できる憩い・遊び・相談の場(地域子育て支援センター等)	1	2	a	b	c	d	e	f
11. ファミリーサポートセンター	1	2	a	b	c	d	e	f
12. 放課後児童クラブ〈学童保育〉	1	2	a	b	c	d	e	f
13. 放課後子ども教室	1	2	a	b	c	d	e	f
14. 子育て情報・支援ネットワーク	1	2	a	b	c	d	e	f
15. その他 ()	1	2	a	b	c	d	e	f

用語集

(アンケート【問16】の「施設」「サービス」等の説明です。)

用語	説明
幼稚園	学校教育法に基づき、満3歳から小学校就学前の子どもに対して幼児教育を行う施設。
幼稚園の預かり保育	幼稚園の通常の教育時間の前後や、夏休みなどの休業中に、希望者を対象に幼稚園で子どもを預かる(教育活動を行う)事業。
認定こども園	認定こども園法に基づき、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設で、就学前の子どもへの教育・保育および保護者への子育て支援を総合的に提供する施設。
認可保育所	児童福祉法に基づき、保護者が共働きの場合などに、0歳から小学校就学前までの子どもに対して保育を行う施設。
認可外保育施設	認可保育所と同様な役割を果たしているが、児童福祉法による認可を受けていない保育施設。
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような個人的に契約した保育を行う人が、子どもの家庭で保育を行う事業。
家庭的保育	保育ママなど保育を行う人の家庭等で、5人以下の子どもを保育する事業。
事業所内保育	企業が運営している保育施設において、主として従業員の(場合により、地域住民の)子どもを保育する事業。
休日保育	休日・祝日に、保護者が就労・病気・冠婚葬祭などのために家庭で子どもをみられない場合に子どもを保育する事業。
一時・特定保育	パートタイムの働き方や、出産、病気、冠婚葬祭などの場合に、子どもを一時的に保育する事業。
病児・病後児保育	病気になった子ども又は病気から回復中の子どもを保育する事業。
地域子育て支援センター	保育所の空き教室や公共施設内の子育てひろばなどで、自由に親子が遊んだり、育児相談ができたり、子育てサークルの支援などが行われる施設。
ファミリーサポートセンター	行政やNPOなどが仲介し、育児の手助けができる人(援助会員)と育児の手助けが必要な人(依頼会員)を登録し、地域で子育てを支援する事業。
放課後児童クラブ(学童保育)	児童福祉法に基づき、保護者が共働きの場合などに、小学校低学年(1~3年生)の子どもを中心として、放課後や夏休み中などに遊びや生活の場を提供する事業。
放課後子ども教室	保護者の就労にかかわらず、小学校1年生から6年生までのすべての子どもを対象に、空き教室等で放課後活動を行う事業。
子育て情報・支援ネットワーク	メールにより、子育てについての情報を提供したり、相談などを受け付ける、市町村が実施している事業。

【問17】 あなたは、次の労働関連制度等を利用したことがありますか。いくつでも○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 育児休業制度 | 8. 子の看護休暇 |
| 2. 短時間勤務制度（フレックスタイム制度） | 9. その他育児に関連した制度 |
| 3. 所定外時間勤務の免除 | （ ） |
| 4. 在宅勤務 | 10. 制度を利用できる時期に働いてい |
| 5. 育児に関する費用の補助 | が、利用したことはない |
| 6. 勤務地の限定ないしは指定 | 11. 制度を利用できる時期に働いていない |
| 7. 再雇用制度 | ため、利用したことはない |

【問18】 問17で1と答えなかった方(育児休業を取得しなかった方)にお聞きします。育児休業を取得しなかったのはなぜですか。いくつでも○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 職場に育児休業制度がなかった |
| 2. 自分の仕事に忙しく、同僚に迷惑がかかる |
| 3. 取得しにくい又は取得させない雰囲気職場内にあった |
| 4. 育児休業の対象者ではなかった |
| 5. 取得すると収入が減る |
| 6. 制度を知らなかった |
| 7. 勤務評価に影響する |
| 8. 配偶者が取得したため、取得する必要がなかった |
| 9. 配偶者が子育てに協力してくれるため、取得する必要がなかった |
| 10. 子どもを預かってくれる人(場所)があったため、取得する必要がなかった |
| 11. 取得したいと思わなかった |
| 12. 制度を利用できる時期に働いていない |
| 13. その他（ ） |

【問19】 あなたの子どもを通じたご近所づきあいについて、この中からあてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもを預けられる人がいる |
| 2. 子どもをしかったり、注意してくれる人がいる |
| 3. 子どもを連れて家を行き来できる人がいる |
| 4. 子ども同士を遊ばせながら、立ち話をする程度の人がある |
| 5. 子どもを連れて、一緒に遊びや旅行に出かける人がいる |
| 6. 子育ての悩みを相談できる人がいる |
| 7. 保育所や幼稚園の送り迎え、近所での買物などの際に、あいさつをする程度の人がある |
| 8. 子どもを通して関わっている人はいない |

【問20】 あなたは、子育てに喜びを感じますか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 喜びを感じる時の方がかなり多い | 4. 喜びを感じる時の方がかなり少ない |
| 2. 喜びを感じる時の方がやや多い | 5. わからない |
| 3. 喜びを感じる時の方がやや少ない | |

3 ここからは、独身の方にお聞きします。
結婚されている方は、問24（P14）へお進みください。

【問21】 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のいずれですか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. いずれ結婚するつもり（ある程度の年齢までには結婚するつもり） |
| 2. いずれ結婚するつもり（理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない） |
| 3. 一生結婚するつもりはない |

【問22】 あなたは、結婚の利点をどのようにお考えですか。この中からあてはまる番号を2つ以内で選び○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 経済的に余裕がもてる |
| 2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる |
| 3. 精神的な安らぎの場が得られる |
| 4. 愛情を感じている人と暮らせる |
| 5. 自分の子どもや家族をもてる |
| 6. 性的な充足が得られる |
| 7. 生活上便利になる |
| 8. 親から独立できる |
| 9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる |
| 10. その他（ ） |
| 11. 結婚の利点はないと思う |

【問23】 現在、あなたが独身でいる理由を次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる番号を3つ以内で選び○印をつけてください。

1. 結婚するにはまだ若すぎるから
2. 結婚する必要性を感じないから
3. 今は、仕事(または学業)にうちこみたいから
4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
5. 仕事が忙しくて出会うチャンスが少ないから
6. 独身の自由や気楽さを失いたくないから
7. 結婚したい相手にまだめぐり会わないから
8. 異性とうまくつきあえないから
9. 経済的な余裕がないから
10. 結婚生活のための住宅のめどが立たないから
11. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
12. その他 ()
13. すでに結婚が決まっている

4 ここからは、全員の方にお聞きします。

【問24】 あなたにとって、仕事と生活のバランスはうまく取れていると思いますか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。(※専業主婦など、仕事についていない方は家事とプライベートについてお答えください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. まったくそう思わない |

【問25】 あなたは今の仕事にやりがいを持って積極的に取り組んでいますか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. まったくそう思わない |

【問26】 あなたの職場は、子育てをする人(男女問わず)にとって働きやすいと思いますか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. そう思う | 4. まったくそう思わない |
| 2. ややそう思う | 5. わからない |
| 3. あまりそう思わない | |

【問27】 問26で3または4と答えた方にお聞きします。働きやすすくないのは、何が原因だと思いますか。あてはまる番号に**いくつでも**○印をつけてください。

1. 子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない
2. 日常的に労働時間が長い
3. 通勤時間が長い
4. 始業・就業時間が固定的である
5. 営業時間の制約（顧客対応や長時間開店など）がある
6. ひとりひとりの業務量が多い
7. 有給休暇がとりづらい雰囲気がある
8. 育児に関する休暇・休業がとりづらい雰囲気がある
9. 育児支援制度の利用が、昇進や昇給に不利である
10. 転勤がある
11. 職場で継続就業してキャリア形成している例が少ない
12. 子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない
13. 復職にあたっての異動・配置の本人希望が通りにくい
14. その他（）

【問28】 あなたは、結婚を希望する人の結婚を支援する施策として何が重要だと思いますか。この中からあなたの考えに近い番号を**3つ以内**で選び○印をつけてください。

1. 安定した雇用環境を提供すること
2. 賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること
3. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと
4. 出会いの場を提供すること
5. 結婚したほうが有利となるような税制を行うこと
6. 夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実
7. 若者の結婚を推奨するような啓発活動を行うこと
8. その他（）
9. 特にない
10. わからない

【問29】 あなたは、安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策として何が重要だと思いますか。この中からあなたの考えに近い番号を**3つ以内**で選び○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 出産育児一時金(42万円)を増額する | 8. 妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口(子育て世代包括支援センター等)の充実 |
| 2. 不妊治療に対する助成を拡充する | |
| 3. 妊娠中の健康診断を無料化する | |
| 4. 産前6週間(多胎妊娠は14週間)・産後8週間の休業期間を拡大する | 9. 産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を促進する |
| 5. 産後ケア事業などの母子保健サービスを充実する | 10. その他() |
| 6. 家事補助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する | 11. 特になし |
| 7. 産科医療体制を充実する | 12. わからない |

【問30】 あなたは、子育てを支援する施策として何が重要だと思いますか。この中からあなたの考えに近い番号を**3つ以内**で選び○印をつけてください。

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する | |
| 2. 児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する | |
| 3. 育児休業をとりやすい職場環境を整備する | |
| 4. フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推し進める | |
| 5. 時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する | |
| 6. 育児休業中の所得保障を充実する | |
| 7. 出産・育児による退職後の再就職支援を充実する | |
| 8. 子ども医療費への支援を充実する | 9. 教育費への支援を充実する |
| 10. 子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する | |
| 11. 育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する | |
| 12. 妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口(子育て世代包括支援センター等)の充実 | |
| 13. その他() | |
| 14. 特になし | 15. わからない |

【問3 1】 あなたは、子育てにおいて、地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動があればいいと思いますか。この中からあなたのお考えに近い番号を**3つ以内**で選び○印をつけてください。

1. 子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動
2. 子育て家庭の家事を支援する活動
3. 不意の外出の時などに子どもを預かる活動
4. 子どもと遊んでくれる活動
5. 子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動
6. 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動
7. 子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

【問3 2】

－1 本県では、子育て応援マスコット・キャラクター「はぐみん」を定め、いろいろな県の取組で活用しています。あなたは、この「はぐみん」を知っていますか。あてはまる番号を**1つ**選び○印をつけてください。

1. 見たことがあり、名前も知っている
2. 見たことはあるが、名前は知らなかった
3. 見たことがなく、名前も知らなかった

－2 また、本県では、毎月19日を「子育て応援の日（はぐみんデー）」と定め、一人ひとりができることから子育てを支えていく取組を実施するよう呼びかけています。あなたは、この「子育て応援の日（はぐみんデー）」を知っていますか。あてはまる番号を**1つ**選び○印をつけてください。

1. 趣旨・内容についてよく知っている
2. 趣旨・内容について少しは知っている
3. 聞いたことがあるが趣旨・内容はよく知らなかった
4. 全く知らなかった

子育て応援マスコット・キャラクター はぐみん



はぐみん

- デザインを18年度に募集し、628点の中から選定。ニワトリの親子をモチーフに、家庭円満や平和を象徴する「まる」をテーマにデザインにしたキャラクター。
- 愛称を19年度に募集し、2,373点の中から選定。「育み・育む」という言葉と、抱きしめるという意味を持つ「Hug」という言葉から「はぐみん」と命名。

以下は、あなたご自身についてお聞きします。

【問33】 あなたの性別をお答えください。

男性 ・ 女性

【問34】 あなたの年齢は満でいくつですか。

歳

【問35】 あなたのお住まいはどちらですか。

市・町・村

【問36】

－1 あなたの就業形態についてお聞きします。この中から1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 6. 学生 |
| 2. 派遣・契約・期限付きの社員・職員 | 7. 専業主婦・主夫 |
| 3. パート・アルバイト・非常勤 | 8. 無職 |
| 4. 自営業・家族従業 | 9. その他 () |
| 5. 内職・在宅勤務 | |

－2 働いている方にお聞きします。あなたの1週間の労働時間（残業時間を含む）及び通常働いている日に帰宅する時間について、**数字**で記入してください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

1週間の労働時間：約 時間、帰宅時間：午前・午後 時頃

【問37】 あなたのご家族全員の昨年1年間の収入の合計は、おいくらぐらいですか。ボーナス等も含めた税込の額で、あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 300万円未満 | 4. 700万円以上1,000万円未満 |
| 2. 300万円以上500万円未満 | 5. 1,000万円以上 |
| 3. 500万円以上700万円未満 | |

【問38】 一緒に暮らしている人は、あなたを含めて何人ですか。

人

【問39】 一緒に暮らしている人がいらっしゃる方にお聞きします。あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者（事実婚を含む） | 5. 配偶者の父 |
| 2. 子ども | 6. 配偶者の母 |
| 3. 自分の父 | 7. 自分のきょうだい |
| 4. 自分の母 | 8. その他（ ） |

【問40】 子どもがいらっしゃる方にお聞きします。

－1 子どもは何人いらっしゃいますか。

人

－2 あなたのお子さんの学齢・学年について、あてはまる番号を下の枠のA欄に記入してください。

- | | | |
|------------------|------------------|--------|
| 1. 0～2歳児 | 4. 小学校高学年(4年～6年) | 7. 大学生 |
| 2. 3歳～小学校入学前 | 5. 中学生 | 8. 社会人 |
| 3. 小学校低学年(1年～3年) | 6. 高校生 | 9. その他 |

また、3歳未満のお子さんがいらっしゃる場合は、B欄に年齢を記入するとともに、C欄に保育所、幼稚園等の利用についてあてはまる番号を1つ選び記入してください。（※7人以上の場合は、欄外に追加記入してください）

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 認可保育所 | 5. 家庭的保育（保育ママ）・居宅訪問型保育（ベビーシッター） |
| 2. 幼稚園（未就園児子育て支援広場、サークルを含む） | 6. その他認可外施設等 |
| 3. 認定こども園 | 7. ファミリーサポートセンター |
| 4. 事業所内保育施設 | 8. その他（ ） |
| | 9. 預けていない |

	学齢・学年 A	年 齢 B	利用の有無 C		学齢・学年 A	年 齢 B	利用の有無 C
1人目				4人目			
2人目				5人目			
3人目				6人目			

【問41】 子どもがいらっしゃる方にお聞きします。

あなたは、子どもを預けることのできる近居している（車で5～10分程度又は徒歩で30分程度で行き来できる距離に住んでいる）親族等はいらっしゃいますか。あてはまる番号に**いくつでも**○印をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 自分の父 | 6. 配偶者のきょうだい |
| 2. 自分の母 | 7. それ以外の親族 |
| 3. 配偶者の父 | 8. 友人・知人 |
| 4. 配偶者の母 | 9. 近居している親族等はいない |
| 5. 自分のきょうだい | |

<フリー回答>

子どもや子育て、家族のことに関しましてお気づきの点等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。